



～食養学入門～

2. 腸管は隙間をもたせないといけません 3月号で構造が空洞(陰性)なら動きは活発な陽性というお話をしましたがその続きです。私たちの体は真ん中に腸管という空洞がありますね。私たちは構造は陰です。ですから陽性(明るく活発に)動き回ります。樹木はどうでしょう。中身は硬くぎっしり詰まっていますね。構造として陽性ですから、動けない陰性ということです。その場所から動けないので根を地中で動かし養分を得ます。動物はこの根をお腹に抱え込んで動いているのです。ところで、いつも食べ過ぎている人は腸管がつまっていますので、構造が陽性に変化します。ですから動きはなくなります。「腹いっぱい動けない！」という状態です。一生活発に動き回りたい方は少食を実行すればいいのです。

「食養学入門」BL研究所文要約

金属には細菌が付きやすい？

3月号では、保険の金属の補綴物(詰め物・被せ物)が起す金属アレルギーとの弊害についてお話させていただきました。

今回は保険の金属は虫歯になりやすいことをお話します。

虫歯治療をしたからといって、その歯が二度と虫歯にならないわけではありません。

むしろ治療した歯が再度虫歯になるケースは非常に多く、これを二次虫歯(二次カリエス)と呼びます。

ではなぜ保険の金属は虫歯になりやすいのでしょうか。その理由は、

○金属を付ける際に使用する合着材が加水分解によって溶けてしまうから

○付けた詰め物、被せ物の隙間から細菌が侵入してしまうから(噛んでいるうちに金属が少しづつ変形している!?)

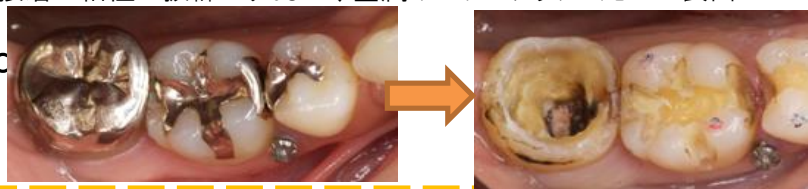
…なんです!

また、治療で神経を除去していることで痛みを感じず、二次虫歯であるとなかなか気づかないことが多く、気づいた時には重度の虫歯に…ということは少なくありません(この場合は抜歯の危険性も!?)。

保険の補綴物はどうしても経年劣化してしまうため、劣化のしにくい素材(セラミック)を使うことが好ましいです。

セラミックは金属に比べて寿命が長く、歯との接着の相性が抜群です!また、金属やプラスチックに比べて表面にプラーク(歯垢)が付着しにくいのも特徴です。

メタルの下は
二次カリエス!



スタッフからの一言



こんにちは! 衛生士の林です☺先日、3泊4日で北海道に旅行に行ってきました。レンタカーを借りて苫小牧へ行った時に食べた、マルトマ食堂のホッキ貝カレーがとっても美味しかったです♡その日は千歳の北海道箱根牧場と社台ファームという競走馬の生産牧場にも行きました。馬や羊や牛(水牛も!)が見れて可愛かったです☺あとは豊平峡温泉や中央卸売市場や北海道大学にも行きました。北海道に行くのは初めてでしたが、また暖かくなったら行きたいです! サッポロクラシックビールが最高でした♡

4月の休診日は?

1(日)、8(日)、26(木)、29(日)です。

15(日)、22(日)、30(月・祝)は

12:00までの診療です。

9(月)、16(月)は

17:00から診療です。

4月の矯正の日は20(金)20:40~です。

まの歯科クリニック

〒173-0021

※日曜日はしばらくの間、14:00前までの診療です。
(予約なくなり次第、終了)

ホームページ <http://www.manoshika.jp>